

上三緒の獅子舞【かみみおのししまい】



開催場所

白山神社

開催日

7月13日

7月の第2日曜若しくは第3日曜

【芸能の概要】

上三緒地区は、現在約1300戸と戸数が多い。それを19の組に分けている。それぞれの組に宮世話人を置き、白山神社のお祭りを取り仕切っている。獅子舞はその戸数の中、一部の家庭を魔祓いで舞っている。獅子は大人獅子と子供獅子の2組に分かれている。囃子は笛、太鼓、鉦で行っている。現在は、笛方が約20人、太鼓方、鉦方は約5人と人は多い。舞いの種類は2種類（前庭・狂）がある。前庭は約3分、狂は約6分、狂は宮世話人宅等限られた場所で舞う。神社では、神殿入りといって、30分程の舞を行っている。

【芸能の特徴】

戦時中は数年中断していたが、戦後は毎年行われている。昭和22～24年の獅子舞が最も盛んだった頃の舞い手を軸に、昭和47年、保存会が発足し、現在に至っている。舞には軽快な動きの「前庭」、雌雄の情交を表す荒々しい「狂」とがあり、神社境内及び上三緒地区の各所で舞われる。また、獅子が神社に帰還する際には長い参道を上りながら舞うものもあり、これは「神殿入り」と呼ばれている。

【使用する祭具・道具など】

大太鼓1名・小太鼓1名・鉦1名・横笛で構成される。横笛の人数はその時々で変動する。

・アクセス

上三緒団地口バス停下車すぐ

・周辺の観光

- 飯塚歴史資料館
- 勝盛公園
- 伊藤伝右衛門本邸
- 立岩遺跡
- 嘉穂劇場
- 筑前いっづか雛まつり(3月)
- いっづかどんたく宿場祭り(4月)
- 飯塚国際車椅子テニス大会(5月下旬)
- 納涼花火大会(8月)

・近くの特産品

饅頭、最中、りんご、柿、菊。

